

2024年11月25日

SDGS POP-UP STORE

SDGS ポップアップストア ～ 探究格差への挑戦～

晃華学園中学校高等学校 高校生有志



01

私たちの問題意識

探究格差とその原因について

私たちの問題意識



現在の中高生は 活発に探究しているか

私たちは中学1年生から、様々な探究活動に自主的に取り組みました。また、外部の発表会に参加すると、多種多様な探究活動があります。しかし一方で、全く取り組まない生徒もいます。

体験格差ならぬ
「**探究格差**」と呼ぶべき
問題が生まれつつある

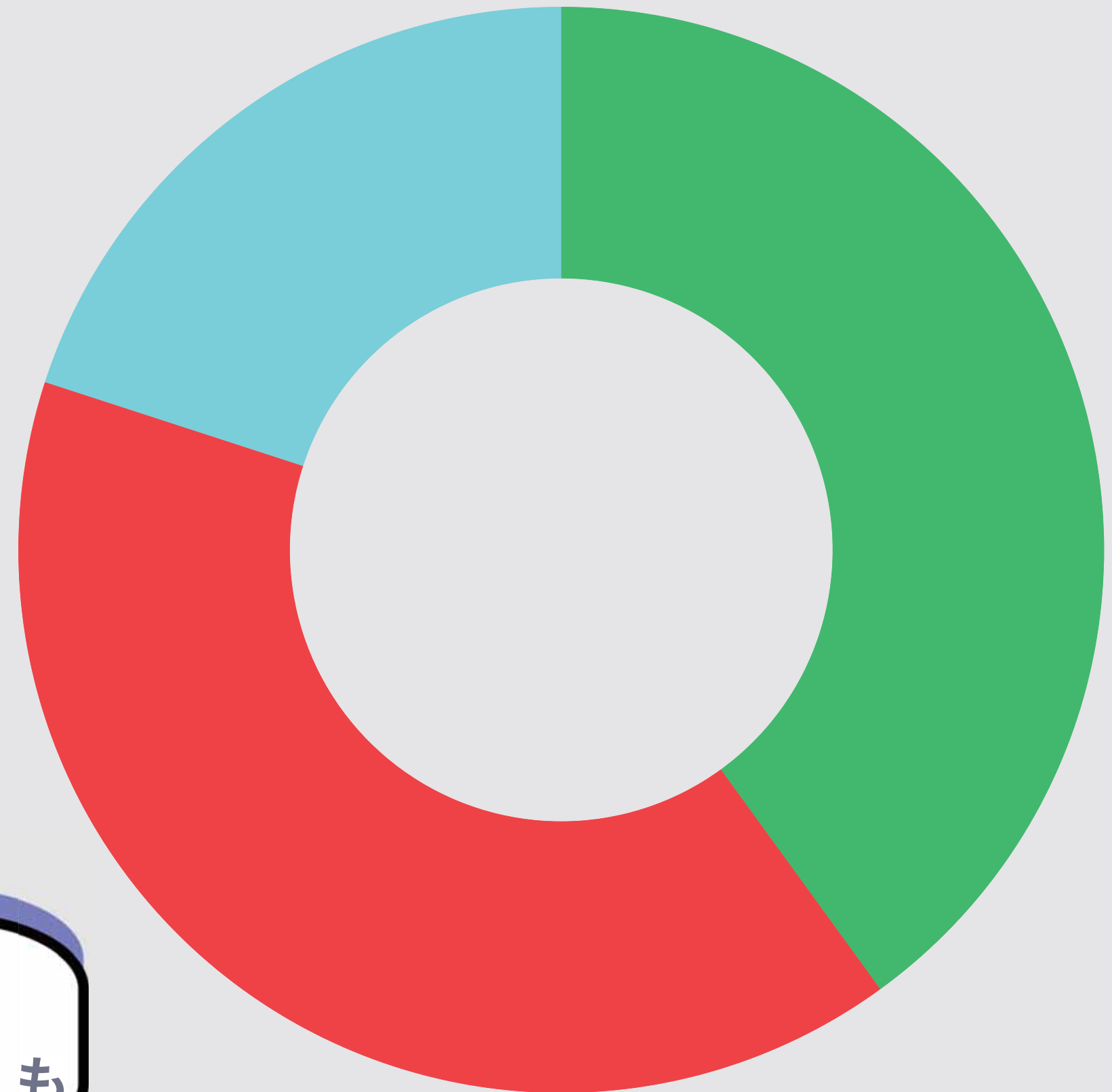
私たちの問題意識

取り組んでいない
= 興味がない、ではない

私達は中高生200名にアンケートを取ってみました。すると分かったのは熱心に探究活動に取り組む生徒と**ほぼ同数の生徒が、「取り組みたいけど取り組めない」と思っているという**現状でした。

活動できなかった生徒は「活動のアンチ」になることも

■ 興味があり取組済 ■ 興味はあるが未取組
■ 興味がない



私たちの問題意識

探究活動の格差が 生み出すもの

調査(荒木・高橋・佐藤(2024))によれば、
**探究学習経験の差は、大学での学びや、
その後のキャリアに大きな影響を与える。**

⇒SDGs達成はパートナーシップが欠かせず、
社会的基盤である教育に格差があることは、
今後に向けて取り組むべき課題です。



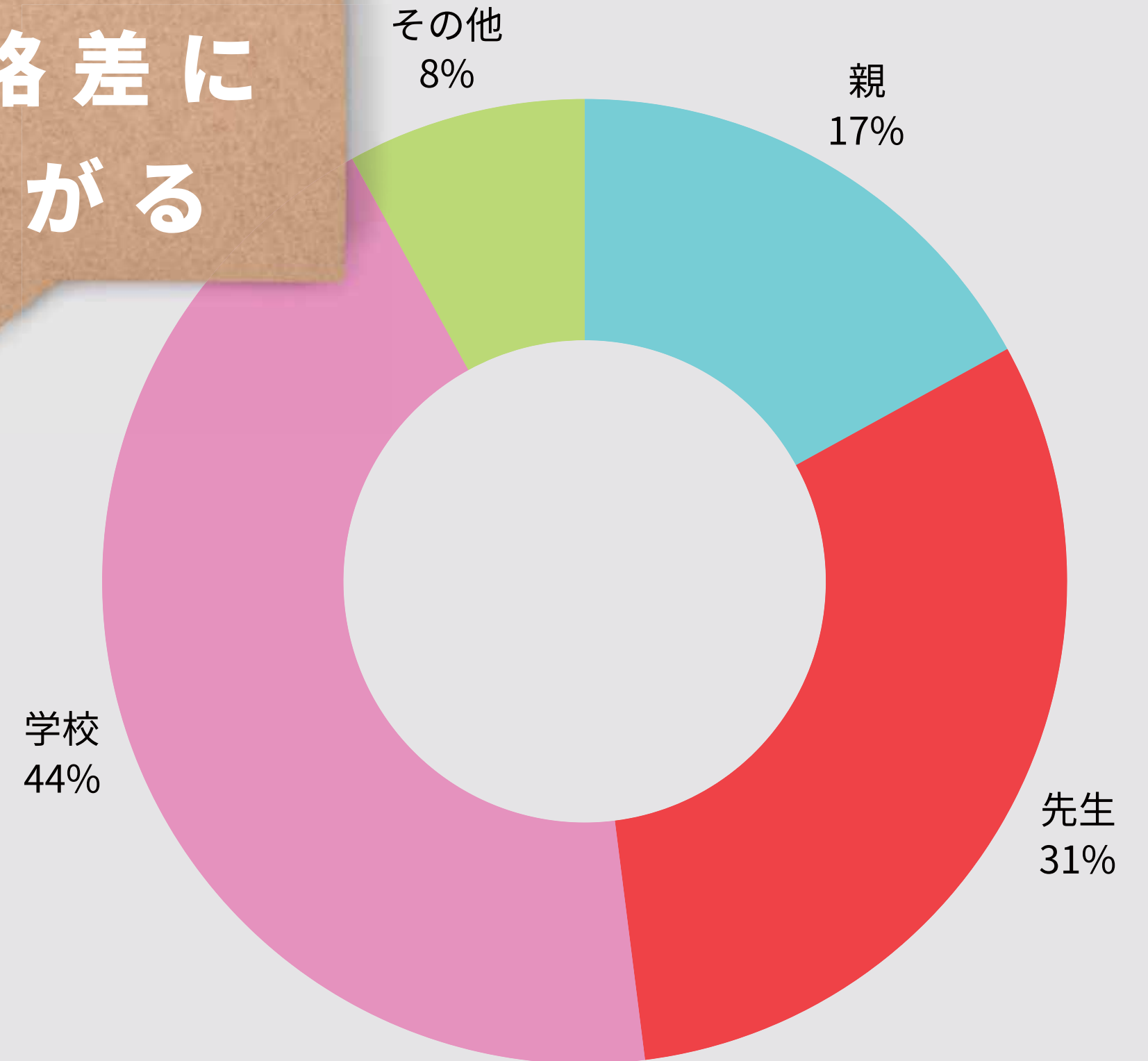
出展：国連広報センター

私たちの問題意識

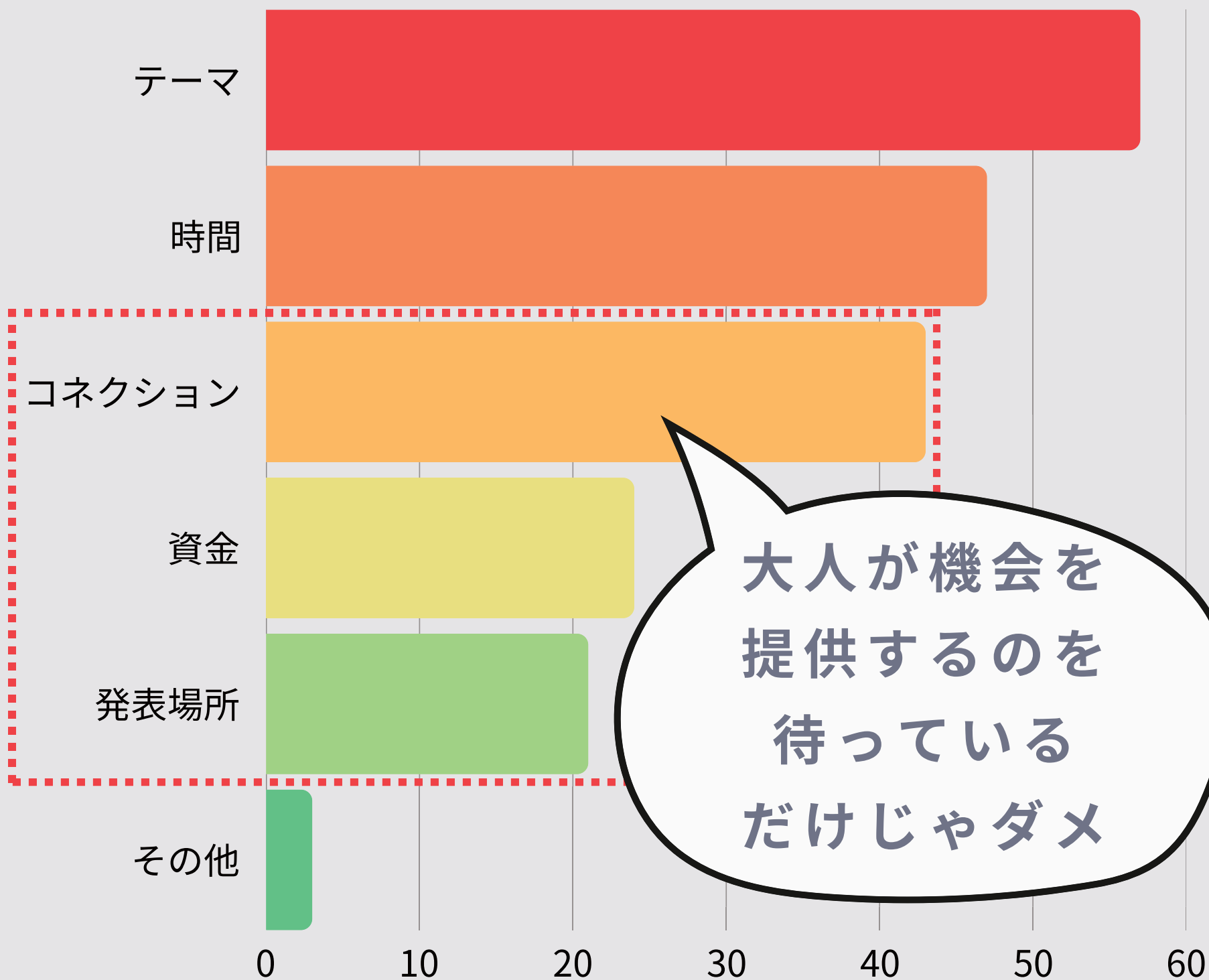
学校や先生による 影響が大きい

さらに「興味はあるが取り組めてない」生徒80名にアンケートを実施すると**80%の生徒が「指導してくれる教員」「支援してくれる学校」が身近にない**ことを原因として挙げており、**学校/教員の違いが、探究活動の取組に影響を与えていると分かります。**

学校の差が
探究格差に
つながる



私たちの問題意識



支援する学校が無ければ 探究活動はできないのか

ただ「どういう支援が欲しいのか」をさらにインタビューで聞いていくと、解答が多い、テーマや時間の確保についての是正は難しくてもその他のものであれば、**高校生でも機会を提供可能**だと考えました。

⇒高校生自身が、探究活動を推進する場作りにチャレンジしてみました

02

私たちの取り組み

SDGsポップアップストアについて

SDGs ポップアップストア



SDGs 活動の プラットフォームを

まず私たちは複数の企画をまとめて
色々な場所に出展し、**発表の場作り**に
励みました。また、そこで出会った
企業を、取り組んでいる生徒に紹介して
コネクション作りを目指しました。
その上で、各活動の商品を売って、
活動資金の確保を狙いました。

SDGsポップアップストア

必要なのは 一歩踏み出すキッカケ

- ① 探究活動に取り組めていない中高生には既に存在してある企画のスタッフとして参加してもらい、**自分の活動のヒントや活動を始めるキッカケ**を探してもらいます。
- ② 既に取り組んでいる中高生にも、出展を通じて、**更なる発展の機会**を提供しました。



コラボ先一覧

学校（中高大）

- 麗澤中学高等学校
- 開智中学校・高等学校
- 立教女学院中学校高等学校
- 都立南多摩中等教育学校
- 柏市立柏陵高等学校
- 国際基督教大学 SDGs推進室
- 学芸大学 木育研究所
- 早稲田大学 環境ロドリゲス

and more...



ストアが
大人と学生の
ハブになる



企業 / 官庁 / 団体

- 環境省・復興庁・三鷹市
- 武蔵野市・調布市
- 関東ESD活動支援センター
- みたか都市観光協会
- Patagonia二子玉川店
- TBS・TBS緑山スタジオ
- フェアトレードむさしの
- フェアトレード世田谷

and more...



学生のSDGs活動の
プラットフォームへ

実際の取扱商品

福島オーガニック
コットンタオル



藍染ハンカチ
~校内6次産業~



生まれ変わった
点字古紙



フェアトレード
コーヒー & 紅茶
(麗澤中高)



少女を救う
アクセサリー



廃材Recycle
アクセサリー
(早稲田大)



ワークショップ & イベント

地産地消
レモネード
スタンド



ペットボトル
キャップ
チャーム工房



フェアトレード
シナモンロール
試食会



児童労働を
考える
ネイルチップ



バナナペーパー
折り紙



野菜と蜜蝋の
優しいクレヨン



今年の出店実績

青少年支援機構主催
春のキッズフェスタ
@オリンピックセンター



みたか都市観光協会主催
三鷹の森フェスティバル
@井の頭公園



能登震災復興イベント
LOVE FOR NOTO
@代々木公園



TBS主催
地球を笑顔にする広場
@TBS赤坂サカス広場



つながるマルシェ
@patagonia
二子玉川店



TBS緑山スタジオ主催
緑山マルシェ
@TBS緑山スタジオ



一年間の実績



“ TBS赤坂の
イベントでは
最多参加者表彰
も受けました ”



これだけ多くの人に中高生の取り組みを伝えられたこと、
多くのプロジェクトを経済的に支えることができたことを
心から嬉しく思っています。

参加者満足度

**参加者が、気づいていない
ニーズに気づくことができる**

参加者は、当初は「発表の場」を求めている人が多かったが、実際に参加すると、発表の場についての満足度が非常に高かった。

⇒キッカケが生まれる場を作ることで、
中高生の探究活動を活発化して
探究格差の是正に繋げることができる

**ポップアップ
ストアに参加した
中高生に実施した
アンケートの満足度**



98%

03

今後の発展

「テーマの発見」に貢献できるか

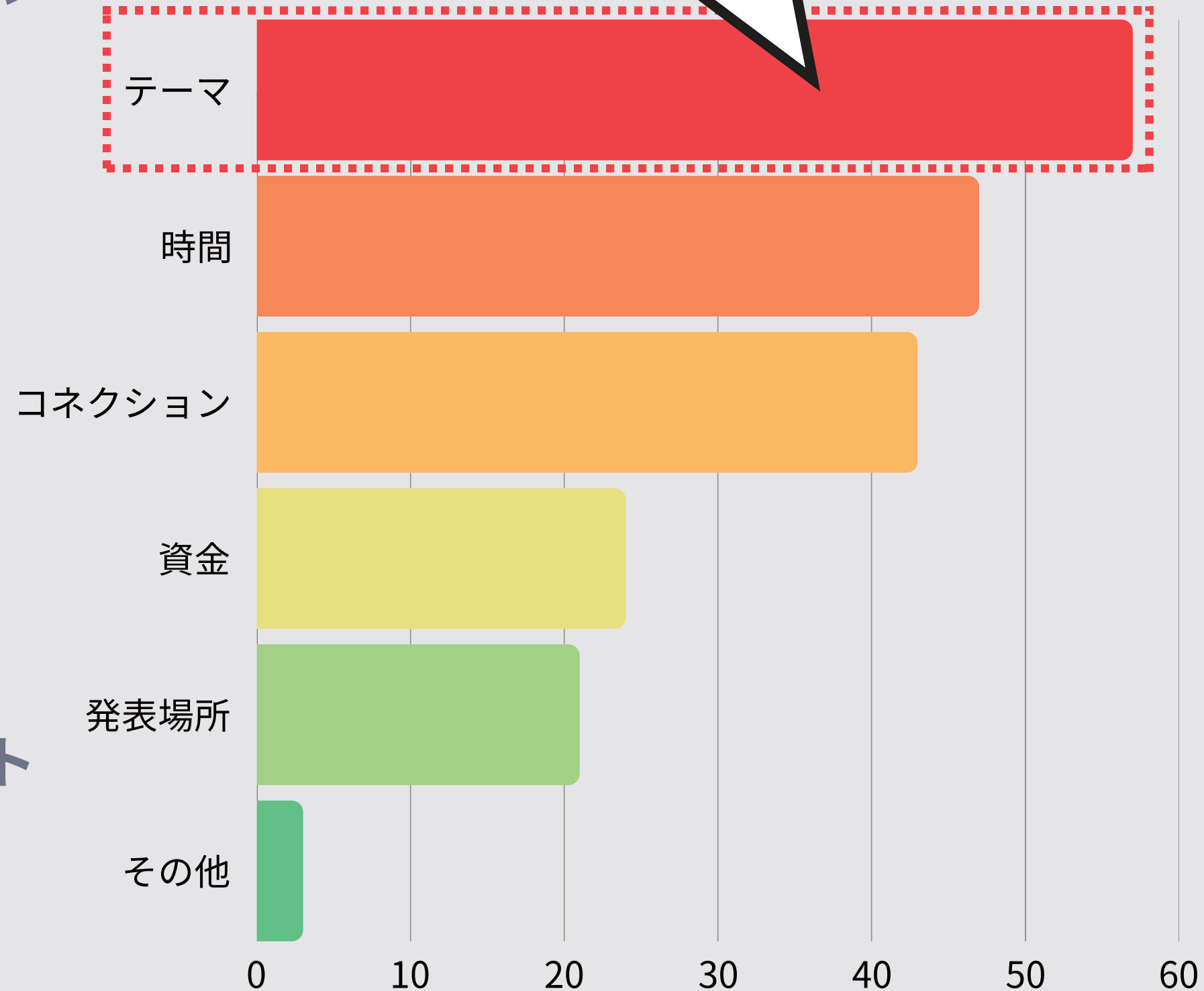
テーマ発見への貢献を目指して

最大の課題である「テーマが見つからない」にも貢献を

ここまで探究格差の是正に挑戦したが、最大の障害でもある「探究テーマが見つからない」の解消にも挑戦したい。

⇒多くのテーマに出会える場があれば、より多くのヒントを中高生に提供できると考えたが、そうしたイベントは無いので、自主企画中。

探究格差の是正は
テーマの未発見に
取り組んでこそ



テーマ発見への貢献を目指して



SDGsポップアップストア 自主イベント

25年3月22,23日に自主イベントを開催
(目的)企業や他校の取り組みを聞いて

自分の活動テーマのヒントを得る

場所：むさしのエコreゾート

協力：関東ESDセンター

出展協力：TBS、博報堂、毎日新聞

...and more

04

ま と め

学びとは、学校とは。

Our Goal

中高生は「学びを与えられる」 存在から脱却できる

多くの生徒は、自身が探究活動をしていない理由を、学校や先生に求めているが、今後の中高生は、「先生と学びを作っていく」存在を目指していく必要がある。

※ 探究格差の本質は学校格差ではなく、
生徒自身が教育に対して受動的であること

⇒ この探究活動を通じて、「高校生でも
学びの場を作れる」ことを実証していきたい。



Our Goal



若い世代から 確かな一歩を

同じ課題や不満に直面したことがある、
同年代の私たちだからこそできるアクション
として、これからも活動拡大を進め
探求活動の発信の場や探求テーマを
見つける場作りに挑戦していきます。

参考文献

- ・ 荒木淳子・高橋薫・佐藤朝美(2024)「高等学校における探究学習の経験と大学での学び・キャリア探索との関連」『日本教育工学会論文誌』
chromeextension://efaidnbnmninnibpcajpcgglclefindmkaj/https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjet/advpub/0/advpub_47105/_pdf
- ・ 国連広報センターHP
「SDGsのポスター・ロゴ・アイコンおよびガイドライン」
https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_logo/

THANK YOU!

最後までお聞きいただき
ありがとうございました!